

小森野だより

発行
久留米市小森野1-1-1
久留米工業高等専門学校内
同窓会久留米工業会本部
電話 (0942) 39-2743
同窓会ホームページ
http://www.h2dion.ne.jp/komorino
同窓会事務局メールアドレス
komorinokai@h2dion.ne.jp



同窓会 久留米工業会 会長 國松 良康 (機械工学科第七回卒業)

平成二十九年三月十五日、今年も本科生百八十二名、専攻科三十二名の学生達が巣立っていきました。今年は、多少、寒さのせいで、桜の開花が遅れていましたが、学生達の顔は希望に溢れていました。

卒業の祝辞で何を話そうか、伝えようかと考えていました。たまたま、私達七期卒業は、ほぼ六十五歳になりましたから、定年で第一線を退く年でした。人生の門出の若人に向けて定年の我々が定年の時に思うことを伝えました。

人生、長いようで短い。短いようで長いものです。私の場合ですが、二十歳で、社会人となり、家業の都合で急遽石材店の跡を継ぐ事となり、エンジニアになる夢は横に置きま

いやや仕事をしながら、夕方社会人野球の仲間と居酒屋へ行き、十二時近く迄遊んでの繰り返しでした。ふと人生の道程を考えた時、このままでは、まずいぞと思い、今、自分分は、何を目標として生きていくのかを自問自答し始めていました。どうしてそれを始めたか全く覚えていませんが、コピー用紙(A4)を三回折って八つの縦線を作り「○○○年私の目標」と書き、思いつく事をまず、広告紙の裏に書きつづりました。それに優先順位をつけ並べ直します。ねばならない事、欲しい物、等最初は、その程度の内容でした。

さて、どこにその書いた物を貼ったらいいか?私はトイレの壁を選びました。人間は毎日見ること暗記します。次に記憶となり、毎日見て無意識に読みつづけていく中で、深層心理の中に入っていくます。そうすると無意識に行動につながります。

次にこの方法を続けていくうち一つの事に気づきました。最初は○○○○年私の目標としていましたが、この中に「○○○○年私の行動目標」と、この行動二文字を入れることだけで随分結果に違いが出ます。無意識に意識して行動し、いつしか目標達成しています。十年くらいして、もう一つ折って十六行にしました。大・中・小色々欲ばって目標、欲しい物、家庭の事も記入しました。ここで一つ副産物が生まれる事に気づきました。家族が同じ様に毎日見ること、絆や父親の背中を見て育つことです。非行に走ることは少なくなると思います。私の息子も成人して時々、あの頃あの目標でお父さん頑張ってたよねえ、とか、キャンペーンカード買って家族であっちこっち連れていつてくれたよねえ、とか今でも思い出した様に言います。ちよつと話がそれました。五年、十年、十五年と年を重ねて、昔の目標と今日の目標を比べて分かります。間違はなく、階段の高さは高くなっ



ています。私は高専に入ってから五年間で一センチしか伸びませんでした。人生の階段は多少高くても登れる様になつた気がします。やり続ける事の重要性は世の中良く言われますが、こういうことかもできません。

十五行の中身が達成出来なくてもかまいません。持ち越しOK、削除OK、新しい目標が見つければ、入れ替えOKです。

最初に話した様に六十五歳は必ず巡って来ます。その時少しでも良い人生の高見に立つて欲しいと思います。素晴らしい人生、洋々たる未来を迎えて下さい。



第十二回大同窓会開催の御礼

第十二回大同窓会実行委員長 大山周治 (機械工学科第十二期卒業)

第十二回大同窓会は、平成二十八年十二月三十日(金)ホテルニュープラザ久留米にて開催されました。お忙しい中、ご来賓の方々や全国各支部からのご参加、また遠方からのご参加等心より御礼申し上げます。当日は、午後二時からの総会に始まり、夕刻の懇親会まで、大きなトラブルもなく進行することが出来ました。

大同窓会準備期間を振り返りますと、本当にあつと言う間に、本番当日を迎えたという感じでした。至らぬところ等あつたかと思ひますが、皆さんのご協力のもと無事に終えることが出来まして大変感謝申し上げます。会が進むにつれ恩師、旧友、各部活動の先輩後輩と座がくずれ、盛り上がった宴となり、また、大同窓会最後の締め括りの校歌斉唱・逍遙歌で、会場が一体となった時は、これが久留米高専だなと実感致しました。

最後にりましたが、久留米高専同窓会の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝を祈念いたします。

SupercomputingContest 2016

での優勝

前田 南樹 (制御情報工学科四年)

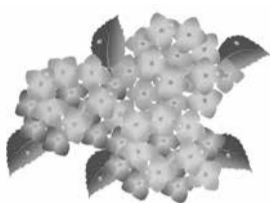


東京工業大学・大阪大学が主催するSupercomputingContest (以下SuperCon) 二〇一六年、プログラミング部からチーム「GhostDiv」として同級生の菅野彰君、二年生の榎原晃都君と一緒に参加しました。

SuperConは、名前の通りスーパーコンピュータを使って問題を解く大会で、高校生および高専の三年生以下が出場できます。今回のSuperConは、グラフ理論に関する組合せ最適化問題が出題されました。組合せ最適化問題とは、与えられた制約条件を満たす有限個の解の候補の中から、よりスコアの高いものを探し出す問題のことです。一般に、組合せ最適化問題では解の候補の数が天文学的な数字になります。そのため、いくらスーパーコンピュータが使えらるからといって、工夫のなされていないプログラムでは到底太刀打ちできません。そこで、問題を効率的に解決するためのアルゴリズムの知識や、適切に解の候補を絞って現実的な時間でよいスコアの解を見出す最適化の知識など、幅広い知識を用いて問題に取り組む必要があります。

僕はアルゴリズムが得意なので、グラフ理論に関する計算などを効率的に行うアルゴリズムを実装しました。普段から幅広いアルゴリズムを勉強していたおかげで、今回の問題に適した高速なアルゴリズムを選択できたのではないかと思います。

最適化は、他のチームメイトに任せました。最適化問題に対する手法の考案・実装に長けたチームメイトのお陰で、非常にスコアの高い解が見つかるプログラムを作成することが出来ました。僕たちのチームが優勝できた最大の要因は、役割分担が適切だったことだと思います。



全国高専体育大会バレーボール競技女子

優勝報告

森田 真帆 (生物応用化学科四年)

久留米高専バレーボール部(女子)です。

私達は、様々な学科の一年生から五年生までのメンバーで日々練習に取り組んでいます。また、文武両道を目指し、勉強もしっかりと頑張っています。

そんな中、私達は、平成二十八年八月二十、二十一日に岐阜県で行われた全国高専大会に初出場し、初優勝することができました。『全国高専大会優勝』を目標にしていたので、達成できたときの喜びはとても大きかったです。

前年度は、九州沖縄地区大会の決勝で佐世保高専に惜敗し、全国への切符を逃していました。とても悔しくて、来年は絶対勝つと強い思いでそれから一年間、練習を積み重ねました。今回の決勝も佐世保高専と対戦し、前年と同じ展開で接戦でした。私達は、一年間やってきたことと仲間を信じ、戦いました。その結果、最後の最後に逆転し、優勝することができました。



それから、およそ一ヶ月後、全国高専大会が開催されました。予選では、和歌山高専、函館高専と対戦し、ストレートで勝ちました。決勝では、前年度優勝校の松江高専、準優勝校の鶴岡高専と対戦しました。私達は初出場の挑戦者で、胸を借りる思いで全力でぶつかっていました。その結果、どちらにもストレートで勝ち、優勝できました。この優勝は、決して私達だけで掴んだものではなく、顧問の先生方、コーチ、OB、OG、家族、友人などたくさんの人の支えがあったからこそだと思います。

これからもバレーボールに打ち込める環境への感謝の気持ち忘れず、仲間と高め合いながら、日々練習に励んでいきます。

同窓会メーリングシステム登録ご案内

同窓会では、同窓会開催等のご案内や、支部情報の発信、活性化等を目的として、メーリングシステムを導入しています。

下記ホームページより、ご登録をお願いいたします。

登録先リンク <https://komorinokai.net/member>

※登録頂いたメールアドレスは、情報発信以外の用途には使用いたしません。

同窓会ホームページ等ご案内

facebook <https://www.facebook.com/kurumekosendosokai>

ホームページ <https://komorinokai.jimdo.com/>

本校卒業生及び専攻科修了生数

(2017年3月現在)

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	37	機械・電気システム工学専攻	20
電気電子工学科	38		
制御情報工学科	36		
生物応用化学科	33	物質工学専攻	12
材料工学科	38		
合計	182	合計	32

平成29年度入学生数

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	43	機械・電気システム工学専攻	18
電気電子工学科	43		
制御情報工学科	42		
生物応用化学科	43	物質工学専攻	14
材料システム工学科	42		
合計	213	合計	32